

海賊対処の第19次派遣部隊がソマリア・アデン湾に向け出港

～ 派遣海賊対処行動水上部隊（第19次隊）出国行事の様 ～

ソマリア沖・アデン湾における海賊対処のための第19次派遣水上部隊が、7月15日に横須賀基地(神奈川)を出港した。

同部隊は、第6護衛隊司令(大川務1等海佐)の指揮の下、護衛艦「たかなみ」(上田祐司艦長)及び同「おおなみ」(加世田孝行艦長)、乗組員約400名(海上保安官8名同上)により編成され、現地到着次第、第18次派遣部隊の護衛艦「いなづま」・「うみぎり」に代わり、護衛活動を開始することになる。

同基地で行われた出港行事では、木原稔防衛大臣政務官及び鮎田英一自衛艦隊司令官より、派遣隊への訓示などが述べられた。

当協会からは、鈴木副会長、商船三井 根本専務執行役員、日本郵船 庄司経営委員他が出席し、派遣部隊の指揮官らに花束を贈呈するなど、新たにソマリア沖・アデン湾に赴く護衛艦の乗組員の方々に感謝の意を表した。

(海務部 小山)

横須賀出国行事



第6護衛隊司令ほか派遣隊員に訓示を行う
木原防衛大臣政務官



第6護衛隊司令ほか派遣隊員に訓示を行う
鮎田自衛艦隊司令官



日本船主協会から第6護衛隊司令へ花束贈呈



第6護衛隊司令が「たかなみ」へ最後に乗艦し、第19次派遣部隊の総員が乗艦完了



出港する「おおなみ」



出港する「たかなみ」



横断幕を持ち、護衛艦を見送る日本船主協会関係者